

上中中学校

めざす姿 主体的に学習する上中生

今年度の取り組みについて

令和5年4月26日(水)

学校の教育目標

社会の中で自分らしく生きるための
資質・能力を育てる

自律・協働・創造

今年度の研究主題

主体的に行動する個と集団の育成

探究活動について

上中中学校では昨年度から探究活動を行っています！

探究活動、探究学習って聞いたことありますか？

令和元年度 福井県立若狭高等学校 SSH研究発表会

日時：令和2年2月15日(土)
9:30 ~ 15:10
場所：福井県立若狭高等学校

内容

第1部 9:30~12:10
・口頭発表(社会探究・理数探究)
2年生 国際探究科・理数探究科
場所：視聴覚室, LL室
選択 3E1, 3E2, 3-3

第2部 13:15~15:10
・開会行事
・ポスター発表
1年生 文理探究科・海洋科学科・普通科
2年生 国際探究科・理数探究科
海洋科学科・普通科
場所：福井県立若狭高等学校体育館
大体育館・小体育館

契約慣れぬ若者、マルチ商法の標的… 18歳成人

消費者トラブル 若狭高生が備え

成人年齢の18歳引き下げを受け、小浜市の若狭高校(二十日、保護者の同意が不要になる約などについて学ぶ消費者教育の授業が開かれた。講師を務めたのは、探究学習のテーマに18歳成人を選んだ国際探究科の三年生一人。普通科の三年生四人、消費者トラブルの事例や成人にならざるを得ることを説明し、自作のゲームを楽しくてもいながら注釈起した。

一人は田原友結さん(一)が最初の当事者になり、話と兼松秀さん(二) 男性のあや八歳成人を選んだ探究学習のテーマを後、成人に与えられる権利の他に、自分たちの年代、利権に関連する話題を調べ

成人年齢の18歳引き下げを受け、マルチ商法などについて教える田原さん(一)と兼松さん(二)も小浜市の若狭高校で

人生ゲームをしながら契約などについて学ぶ生徒たち

生徒を講師に授業 人生ゲームで知識深める

ていこうちに、契約に慣れない若者が詐欺などの標的として狙われやすく、地方に住んでいても無関係ではないと知って驚き、消費者トラブルに焦点を絞って啓発活動しようと考えた。ホスターなどによる啓発では発信力が弱いと思い、自分たちが教員となる授業企画「消費者トラブルは、選挙権などの堅苦しい話に比べて身近なテーマ。当事者の私たちが教えることで説得力を持って伝えられるし、自分事として捉えよう」と生徒目線の授業内容を練り上げた。

「消費者教育大作戦」と名付けた授業では、18歳になれば契約の取り消しなど未成年としての保護が受けられなくなり、詐欺やマルチ商法の被害に遭う可能性が出てくることを強調。相談窓口やクーリングオフ制度について解説した。

授業の中心になったのは「すくみ」形式の人生ゲーム。お金のやりとりをしながら高校から大卒卒業まで進む。クイズのマスに止まるとクレジットカードの利息や飲食店の代金支払い義務の発生時期、マルチ商法の解約などに関する問題に挑戦する仕掛けで、生徒たちはゲームに熱中しながら成人の消費者に必要な知識を身に付けていった。

田原さんは「成人で何が変わるのかわかっていない人が多く、準備がないままでは危ない」と感じており、兼松さんは「契約の問題などを学校で習ったかもしないが、実際はよく覚えていない。マルチ商法などに引っ掛かりやすさを感づいたら、この日の授業を思い出してほしい」と話した。



◎これまでの取り組み

- ・昨年度のMy探究活動
- ・各学年での総合的な学習



今年度も上中生みんなまで

探究活動に取り組みたい

本日の流れ

- ① 「探究」とは何か？
- ② なぜ「探究」をやるのか
- ③ 上中中学校における探究活動
- ④ 探究学習の例
- ⑤ 今後のスケジュール

① 「探究」とは何か？

「探究」と「探求」の違い

「探」・・・さがす

課題をさがしみつける

「求」・・・もとめる

課題に対しての正しい答えをもとめる

「探」・・・さがす

課題をさがしみつける

「究」・・・きわめる

情報を集めて、

課題に対する解決策を自分で考える

「探求」と「探究」の違い

「探求」・・・課題に対してすでにある答えを探し求める

「探究」・・・課題に対して自分なりの答えを探し^{きわ}究める



今年度、上中中学校で取り組んでみたいこと

②なぜ探究をやるのか

近年「探究学習」の重要性が増している！

○主体的な学習

上中生の課題である「主体性」を高め「自律」に近づく

○高校での学びにつなげる

近年多くの高校で探究活動が行われている。その第一歩

○これからの時代に必要な力を身につける

現代社会これからの社会の特徴

→変動的で、不確実で、複雑で、曖昧な時代

明確な答え、確実な答えがない社会

自分で正解を探していく探究活動が必要

今年度の探究活動

My探究 × SDG s



③上中における探究活動

個人探究活動

- 課題（テーマ）設定
- 調査活動
- まとめ活動
- 発表

○課題（テーマ）設定



- ・ **SDGsの17の項目から一つを選択**

※自分の興味のある項目

- ・ **調べ活動で終わらないテーマ**

※インターネットで調べればすべてわかってしまうテーマではなく、自分なりの考えをもりこめるようなものにする

○調査活動

- ・パソコン、本、PCなどを使い情報収集
- ・実験をして検証、比較
- ・データをとり分析・アンケート・インタビュー など

◎調査活動は年間に数回時間を確保

◎学校外での調査は夏休みなどの休日を利用

○まとめ活動

- ・一人一台端末を使い、以下の内容をPowerPointでまとめる

①テーマ設定の理由（研究の背景）

②調査方法

③予想

④結果

⑤考察

⑥感想、今後の展望

○発表

小グループでの発表



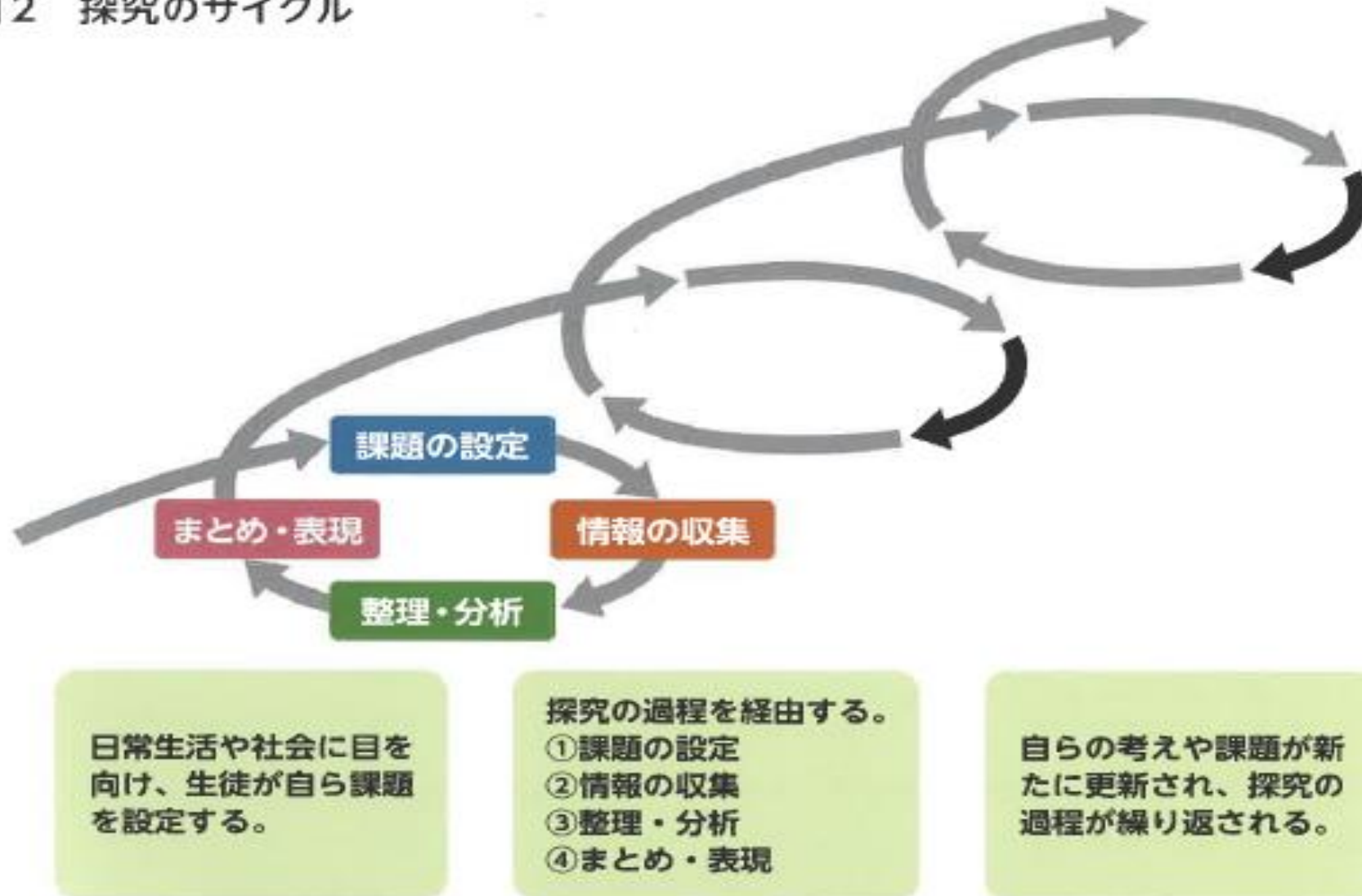
中間発表



学習成果発表会



図2 探究のサイクル



このサイクルを繰り返していくことが探究

④昨年度の探究活動テーマ例



- 表情と感情のつながり
- 質の良い睡眠
- ベストな勉強法
- 色と性格の関係
- 昔に食べられていたものはおいしいのか
- 毛穴をつくることはできるのか
- 熊川にたくさんの人に来てもらうには
- なぜ戦争は起こるのか など

テーマ設定が重要!

調べ学習で終わらず、
「探究のサイクル」が繰り返し続く
テーマを設定しよう!

清川先生のご講演

⑤今後のスケジュール

4月26日	探究活動についての説明
4月26日～5月5日	課題（テーマ）の決定
5月9日～	探究活動スタート
7月中旬	夏休みの調査活動について
夏休み	インタビューやフィールドワーク
9月中旬	夏休みのまとめ＋中間発表
12月～3月	探究活動発表会（学級、学年、全校）
3月上旬	探究活動ふりかえり

探究活動の目標

とにかく**楽しく**！

学習ということにとらわれすぎず**気軽に**！

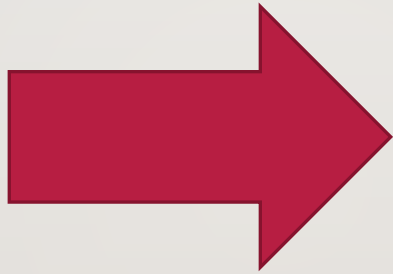
自分の興味のあることをとことん**究める**！

学校を超えて**自分の世界を広げよう**！

楽しく主体的に探究していきましょう！

本日から活動

テーマ(課題)を決定する



GWの期間を使って考えていこう!